

PC ネットワーク管理活用を考える会

第2回 クライアント管理分科会

テーマ:「PFU グループにおけるソフトウェア資産管理の取り組み」

1. ソフトウェア資産管理の目的の再認識 ⇒ 時代は変わる
 - ・管理レベルをどこに設定するか、段階的に進めていくかを計画することが成功の秘訣
 - ・運用メリットを活かす目的の設定により管理が浸透し、持続する。
2. 組織的な責任体制
 - ・ソフトウェア資産管理のルールを理解し、運用業務を円滑にする役割を担う管理者の存在
3. 不正使用を行わせないためのルール作りと運用確認
 - ・運用規定の策定、視覚化、インストール媒体やライセンス証書など管理の所在を明確にする。
 - ・ソフトウェア資産管理ツールによる情報収集結果を部門内でオープン化する
4. 定期的な監査と是正措置
 - ・部門内の管理と、ソフトウェア資産管理ツールによる定期的な監査を行い、
 - ・運用の不徹底や不正があれば、ルールに従った是正措置及び報告を求める
 - ・罰則規定も含めルールを公開する
5. ソフトウェア資産管理ツールの使いこなしと製品そのものの管理について
 - ・ソフトウェア資産管理ツール(IT 資産管理ツール)の製品の特徴と想定管理レベルに見合うか？
 - ・Systemwalker Desktop Patorol では、ソフトウェア辞書を配布することで製品情報に
 - ・詳しくないユーザにソフトウェアライセンス管理対象となる製品をシステム管理者が認識できるようになる。
 - ・ソフトウェアライセンスの契約にかかわる部分に踏み込んだ理想的なツールは現状少ないが、今後の ISO-19770 による標準化進むと徐々に上記機能の実現要求が高まるであろう。
 - ・ホワイトリストと称される情報提供への期待が高まりつつある。
 - ・著名なソフトウェアベンダーは、製品インストール時にアクティベーションを必要とする仕組みを導入しているが、企業版インストール媒体の取り扱いについては課題が残る。
 - ・ライセンス証書とプロダクトキーの管理は、不正使用防止目的とした証拠示唆のために重要。
6. ソフトウェア資産管理に関する業界動向
 - ・社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会 (ACCS) 発行の「ソフトウェア自主調査ガイド」は、ソフトウェア資産管理の調査フェーズでの現状把握のための第一歩
 - ・運用管理プロセスでは、ISO-2000 (ITIL) や ISO-19770 Part1
 - ・ソフトウェア資産管理コンソシアム (SAM Con) は 「ソフトウェア資産管理基準 Ver.2.0」 を 2007/11/27 に公開 <http://www.samconsortium.org/index.html>